

2. 建設副産物搬出計画(実施)

マニフェスト等と合わせる

搬入と単位が違うので注意

伝票と合わせる

HMS処分はその他のがれき類へ記入

マニフェストと合わせる

残管処分重量を記入

石綿管処分等があれば記入

率を確認すること

指定副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④	現場内利用・減量			現場外搬出について								再生資源利用促進率				
		用途コード*10	②利用量	減量法コード*11	③減量化量	搬出先名称	区分	施工条件の 内容コード*12	搬出先場所	運搬距離	搬出先の種類 コード*13	受入地 の用途 コード*14	④現場外搬出量	うち現場内 改良分	⑤再生資源 利用促進量	②+③+⑤ ① × 100	
特定建設資材 廃棄物	コンクリート塊	35.9	3.埋戻	27.9	0	搬出先1	2.民	3.自由	33202.岡山県倉敷市	5	2.中間再生	8	0	8	100	%	
	建設発生木材 (木材が廃棄物になつたもの)					搬出先1											
	アスファルト・ コンクリート塊	40		0	0	搬出先1	2.民	1.A指定	33202.岡山県倉敷市	6	2.中間再生	40		40	100	%	
建設廃棄物	その他のがれき類	0.5		0	0	搬出先1	2.民	1.A指定	33202.岡山県倉敷市	6	2.中間再生	0.5		0.5	100	%	
	建設発生木材 (伐木材、除根材など)					搬出先1											
	建設汚泥					搬出先1											
	建設混合廃棄物					搬出先1											
	金属くず	0.4				搬出先1	2.民	3.自由	33202.岡山県倉敷市	7	2.中間再生	0.4		0.4	100	%	
	塩化ビニール管・継手					搬出先1											
	廃プラスチック (塩化ビニール管・継手を除く)					搬出先1											
	廃石膏ボード					搬出先1											
	紙くず					搬出先1											
	アスベスト (飛散性)					搬出先1											
建設発生土	その他の分別された廃棄物 (石綿管)	0.1				搬出先1	2.民	1.A指定	33202.岡山県倉敷市	10	7.内陸処分	0.1		0	0	%	
	その他の分別された廃棄物 ( )					搬出先1											
建設発生土	第一種建設発生土	地山m3		地山m3	地山m3	搬出先1						地山m3	地山m3	地山m3		%	
	第二種建設発生土	129		0	0	搬出先1	2.民	1.A指定	33202.岡山県倉敷市	10	2.中間再生	129	0	129	100	%	
	第三種建設発生土	地山m3		地山m3	地山m3	搬出先1						地山m3	地山m3	地山m3		%	
	第四種建設発生土	地山m3		地山m3	地山m3	搬出先1						地山m3	地山m3	地山m3		%	
	浚渫土	地山m3		地山m3	地山m3	搬出先1						地山m3	地山m3	地山m3		%	
合計	129		0	0							129		129	100	%		

コード\*10  
1.路盤材 2.裏込材  
3.埋戻材 4.その他(具体的に記入)

コード\*11  
1.焼却 2.脱水  
3.天日乾燥 4.その他(具体的に記入)

コード\*12  
施工条件について  
1. A指定処分 (発注時に指定されたもの)  
2. B指定処分(もしくは準指定処分) (発注時に指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)  
3. 自由処分

コード\*13(詳細は「表11」参照のこと)  
再生資源利用促進  
1. 他の工事現場(内陸・公共・民間を含む)  
2. 中間処理施設(焼却以外)・土質改良プラント  
3. 売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、代金を得た場合)  
4. 建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている場合)  
5. 他の工事現場(海面埋立、海岸、海浜事業含む)

最終処分場・その他  
6. 最終処分場(海面処分場)  
7. 最終処分場(内陸処分場)  
8. 建設発生土受入地  
9. 建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)  
10. 中間処理施設(焼却)  
11. その他(具体的に記入)

注2:再生資源利用促進量について  
現場外搬出量④のうち、搬出先の種類(コード\*13)が1~5の合計